

技能資格検定基礎

Technical Fundamentals



指導員資格

技能資格 検定基礎 技能検定の基礎

一般社団法人日本バトン協会

BATON TWIRLING ASSOCIATION OF JAPAN

3





■技能資格検定の目的

バトントワーリング技能資格は、協会発行の「バトントワーリング技能ライセンス テキスト」に基づき、技術の段階的なレベルアップを図り、その成果を認証することを目的とする。

■目標

- (1) グレード1：初歩的な基本動作と基本操法を身につけバトントワーリングの楽しさを味わう。
- (2) グレード2：基本的なフットワークと基本操法を習得する。
- (3) グレード3：基本操法とコンビネーションによるスムーズなバトンの流れを習得する。
- (4) グレード4：応用操法と正しいボディワークを習得する。
- (5) グレード5：応用操法とコンビネーションによるスムーズなバトンの流れと正しいボディワークを習得する。
- (6) グレード6：高度な技術を習得し、正しいボディワークの習得により美しい表現力を養う。
- (7) グレード7：アシスタントの心得や技術基礎を学び、プレトワールを含む技能6級～4級（G1～G4）のチェックポイントを修得する。



■ 検定員の心得

検定員はバトントワーリングの普及・発展に寄与することを認識し、厳正且つ公平なる判定をすることが重要任務です。また、研修会及び講習会を円滑に運営し、受講生からの信頼を得ることも重要です。

- ・ 研究心と向上心を持ち、研鑽を積み、知識を蓄える努力を怠らない。
- ・ 信頼される人間性を持ち、マナーやルールを遵守し、立場を踏まえた言動を行う。
- ・ 守秘義務を守り、言論に注意する。
- ・ 受験者に圧迫感を与えないような態度を心がける。
- ・ 先入観や思い込み、こだわりを無くし、公平に検定を行い、検定結果に責任を持つ。








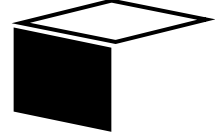

■評価基準

評価	評価内容	理解度 (%)	実施度 (%)	合計 (%)
A (10)	操法 (動作) を理解し、正確に実施できる	40	40 ~ 60	80 ~ 100
B (8)	操法 (動作) を理解し、ほぼ正確に実施できる	40	20 ~ 40	60 ~ 80
C (6)	操法 (動作) を理解しているが、実施は不安定である	40	0 ~ 20	40 ~ 60
D (4)	操法 (動作) を理解しているが、実施は不正確である	40	0	20 ~ 40
E (0)	操法 (動作) を理解していない	0	0	0

- ・理解度と実施度を評価する。
- ・やり直しは原則として2回までとし、一番良くできたものを採点する。
- ・複数の検定項目に対し、評価が1つ (コンビネーションなど) の場合は以下の方法により評価の目安とする。
 同じ評価、または同じ評価が2つ以上の場合は複数ついた評価となる。 AAA…A AAB…A BBA…B BCC…C
 違う評価が付いた場合は平均となる。 ABC…B BCE…D
 Eが付いた場合は総合してC以下の評価となる。 AAE…C ABE…C

採点内容 (チェックポイント)

■採点内容・・・下記の内容を総合して判断する。

①  正しい 操法	②  正しい 姿勢	③  グリップ	④  フォーム	⑤  リズム	⑥  パターン	⑦  スムーズ ネス
正確なバトンの 回し方	正しい身体の使い方、 リブケイジアップ、 ターンアウト	グリップの甘さ、 バランスポイントの 位置	適切なバトンの位置、 適切な身体の向き (腕、肘、膝、爪先の位置)	一定のリズム、 正確なカウント	適切なパターン	なめらかさ

■エラー (マイナス要因)・・・評価の判断材料とする。

・違う操法を行う	…違う操法、動作 E (0)
・ドロップ	…ドロップ までの評価、1度も取れない場合 D (4)
・回転の過不足	…フリップ、トスの回転数 -1~-2
・リズム、カウントが違う	…適切でないリズム、カウント -0.5~-1
・フォーム	…適切でないポジション -0.5
・逆グリップ	…グリップが反対 -0.5~-1
・振り忘れ(1級ルーティーン)	4拍以内 -1、8拍以上 -2